

ONE BRAND

◆ONE LOVE INTERVIEW

高橋幸宏

vol. 36

楽しい!

便利!

ソーシャルネットワークサービス

SNSでつながる ドッグライフ



楽しい!

便利!

ソーシャルネットワークサービス

SNSでつながる ドッグライフ



大きな広がりを見せるSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）。

何よりの魅力は「つながる」楽しさにあります。

インターネットの世界だけにとどまらず、

リアルなコミュニケーションを深められるSNSは、

使い次第で、飼い主さんにも犬にも、うれしいことがいっぱい。

そこで今回は、ドッグライフをもっと豊かにする、

『ONE BRAND』的SNSの楽しみ方をご案内します。

「SNSって何?」「もっと活用したい!」

そんな初心者さんも、愛犬家ならではの利用法がきっと見つかるはず。

撮影：初沢亜利／晴山順平 (P10)

つながる、広がる、深まる！ 愛犬家ゴコロをくすぐる豊かな時間

愛犬家同士がつながる楽しさやメリットを、代表的な4つのSNSを例にご紹介。
スタイルプロデューサーの廣瀬規子さんが愛犬ラルフくん(チワワ9歳)と体感してくれました。

愛犬の写真をBlogにアップ



twitterで「楽しい！」を発信



ベストショットはBlogでお披露目

ラルフとのデート中、絵になる場所を発見！
いつも持ち歩いているカメラでパチリ。
うん、いい表情が撮れて満足♪
ブログにアップするのが楽しみ～。



お散歩の合間に手軽にツイート

休日のお散歩はお気に入りの公園へ。
ラルフのうれしそうな顔、可愛い！
みんなにも見てほしくて歩きながらツイート。
お友達ワンコは何してるかな？



短い「つぶやき」を投稿するツイッターは、愛犬の「今何してる」を瞬時に多くの人に伝えられる手軽さが魅力。ふとした瞬間、思いついたときにパッと簡単に書き込めるので、散歩中に偶然近くにいた犬友達と合流する、そんな楽しいサブプライズも生まれそう。「今」を共有する素早いコミュニケーションはSOSも届きやすく、愛犬の「困った」

**共有する楽しさと便利さ
心地よい場所を見つけ**

短「つぶやき」を投稿するツイッターは、愛犬の「今何してる」を瞬時に多くの人に伝えられる手軽さが魅力。ふとした瞬間、思いついたときにパッと簡単に書き込めるので、散歩中に偶然近くにいた犬友達と合流する、そんな楽しいサブプライズも生まれそう。「今」を共有する素早いコミュニケーションはSOSも届きやすく、愛犬の「困った」

犬との暮らしには、小さな、だけどころかかけがえないハッピーがたくさん詰まっています。ツイッターやミクシィに代表されるSNSは、そうした日常のハッピーをたくさんの人たちと共有し合えるコミュニケーションツール。大好きな愛犬が「可愛いね！」とほめられたら素直にうれしいし、ほっこり幸せ。愛犬の体調や心配事を気軽に相談できる相手がいれば、頼もしくてホッと安心できる。それはきっと、愛犬家同士だから分り合えること。うれしくてときめいたり、楽しくて笑っちゃったり、フツと安らいだり、元気とエネルギーをもらったり。愛犬家同士が「つながる」ことで犬との日々の暮らしが、もっと楽しく、もっと豊かなものになるって、そう思いませんか？ インターネット初心者の飼い主さんも、犬への思いを共感し合うコミュニケーションの場のひとつとして、ぜひ自分らしく活用してみてください。

**ハッピーを届け合う
愛犬家同士のつながり**



モデル：廣瀬規子（ひろせのりこ）●雑誌やFMFUJI サンデーインザパークなどで「女性が喜ぶスタイル」を提案。リヤドロのブランドアドバイザーを務める。タレントのスタイリングの他、企業広告やイベントにも出演。若い女性への発信力、マーケティング力に定評がある。11月下旬には「CBEPXManiaxHirose」初プロデュースのトートバッグが発売予定。http://ameblo.jp/nstyle-net/

SNSで つながる **ドッグライフ**



mixiのコミュニティをチェック



Facebookでリアルな交流



犬好きのユルい集まりにほのほのチワワの健康管理について情報収集……。シニア期に入ったラルフの体調がちょっと心配だったけど、コミュニティのみんなのやりとりに癒されて、ほっ。



Facebookでもっと仲良くなる。フラリと寄ったカフェのオーナーさんと愛犬話で意気投合！自己紹介をして、早速その場でフェイスブックにアクセス。これからのお付き合いにワクワク。



ミクシィの特徴は、何といっても数多くあるコミュニティ。「犬」のジャンルひとつとっても扱うテーマはいろいろ。悩みを相談したり、同じ犬種の飼い主同士で情報交換したり、はたまた愛犬の「ココが可愛い！」をひたすら披露し合ったり、その魅力はコミュニティによってさまざま。同じテーマでも、参加している人や管理者によって交わされる内容が変わってくるので、いろいろのぞいて自分に合った場所を探してみるのがおすすめ。

実名登録が基本のフェイスブックは、犬を通じたリアルなコミュニケーションを深めるのにもってこい。愛犬の写真や動画を投稿したり、コメントを残すことも簡単。気軽なコミュニケーションがはかれるので、もともと仲良しの犬友達や、知り合って間もない相手とも活発な交流が楽しめます。フェイスブック上で初めて出会った人とリアルな関係を結びやすいのも、安心感のある実名制ツールならでは。

愛犬との日々の暮らしを情報量たっぷりに発信できるのが、ブログの楽しさ。せっかくだから写真にもちよっとこだわって、犬が持つ豊かな表情や愛犬との日々のアレコレを自分のペースで綴ってみては。コメントで読者の反応が分かったりやはりうれしいもの。改めて写真をながめたり、愛犬を観察して文章にすることで、当たり前前に過ぎていく日常や犬への思い、すべてがよりいっそう愛しく感じられるはず。

をスピーディに解決するにもぜひ活躍させたいところ。



SNSの魅力って何ですか？ 楽しみ方、教えてください

実際にSNSを使っている愛犬家のみなさんにその魅力を伺いました。
今日から早速始めたいくなるような、楽しみ方の秘訣とヒントがいっぱい！



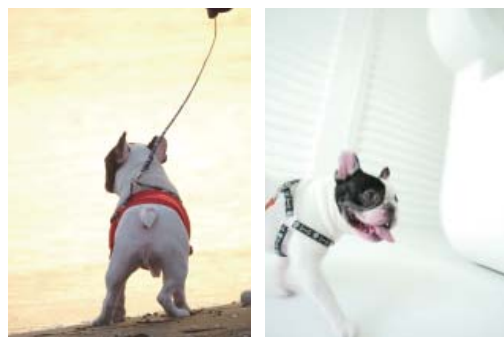
f 心地いい関係性が築ける場 ポジティブな空気が楽しい



木島富士雄さん（きじまふじお）
●1966年生まれ。島根県松江市出身。現在、株式会社デジスタ代表取締役。「編集者という仕事柄、実際の現場でも使用する高性能のカメラを使ってさんべいを撮影しています。フェイスブックに慣れてきたら、写真に凝ってみるのも楽しいと思いますよ」。

愛犬のさんべいくんの存在がきっかけでフェイスブックを始めたという木島さん。「以前から撮りためていたさんべいの写真をまとめるのに、フェイスブックを活用できるかな、と考えたんです。実際に始めてみると、写真を見た友人から『いいね！』とコメントしてもらえるのがすごくうれしくて。ペットの写真って見る側もコメントしやすーと思うんですよ。懐かしい友人や知り合って間もない人も、さんべいの写真に反応してくれます。みんなが楽しみにしてくれていると思うと、それがまたうれしい。今ではさんべいを撮ったら真っ先にアップするようになりました。僕も友人の愛犬の写真を見るのは楽しいし、相手の新たな一面が垣間見えるようで面白い。直接会った人ともさんべいの話題で盛り上がるのが増えたり、犬を飼っている者同士が心地いい関係を築ける場だと思えますね」

フェイスブックを通じて思い出深い出来事も教えてくれました。「以前から懇意にしている大好きなカメラマンさんがいます。フェイスブックを通してさんべいとの家族写真を撮るようになってから、さんべいとお話ししたいんです。さんべいは今10歳。すっかりおじいちゃんですが、悲しいことはあまり考えたくないんです。将来、さんべいの棺に写真を一緒に入れてやりたいと思って」



さんべいくん（フレンチブルドッグ10歳）のチャームングで表情豊かな写真の数々をフェイスブックにて更新中。

愛犬を通じて広がるコミュニケーションの輪。「それがとってもポジティブな感じ」なのだとも木島さん。ポジティブな気持ちでみんながつながること。それが一番の魅力なのかもしれない。



田中秀貴さん（たなかよしとか）
●1977年生まれ。神奈川県出身。横浜市の藤が丘にてペット同伴OKの『ハイナカフェ 81.7cafe』を経営。奥様の知子さん、愛犬、愛猫と、賑やかな毎を送る。「自分のアイコンをペットの写真にするのもオススメ。動物好きの人が興味を持ってくれます」。

「ふとした瞬間にその場でツイートできるので、ちょっとした質問も投げかけやすいんです。うちは大猫がいるので、どちらかの体調に変化があったときは」

「とくに、同じフレンチブルドッグの飼い主さんのつぶやきはよくチェックしています。犬種が同じだからか、やっつい病気も同じだし、体調が悪いときの症状も似通っていると思うので、情報を共有することで飼い主として勉強になることが多いんです。信頼できる獣医さんやブリーダーさんのツイートもフォローしています。自分がつぶやかなくても、何気なく読むだけでマメ知識が得られる。ホント重宝しますよ」

「日々の何でもないことをみんながそれぞれつぶやいている。そんなユルいコミュニケーションが情報を集めるのに一役買っているのではと、田中さん。

「ふとした瞬間にその場でツイートできるので、ちょっとした質問も投げかけやすいんです。うちは大猫がいるので、どちらかの体調に変化があったときは」

「おせっかい焼いちゃってます(笑)」

t 情報収集に優れた便利さと 質問を投げかけやすい気楽さ



ドルくん（フレンチブルドッグ3歳）とモズくん（雑種4歳）。犬猫同居ならではの楽しさや悩みもツイッターで共有！



SNSで つながる ドッグライフ



mixi

自分の「好き」がきつとある 気軽に参加できるコミュを探そう

ミクシイの人気コミュニティの管理人を務める sanaさんに、「コミュニティの楽しみ方についてお聞きしました。」

「コミュニティの魅力は、自分と同じ気持ちを持たない多数の人と共有できることだと思います。たとえ

ば、犬が好きだという気持ち。すぐ身近に共有できる人がいなくても、コミュニティに参加することで同じような思いの人と交流することができるといえる。そのなかでも、いろいろな意見や思いがあることで、視野が広がったり、なるほどな感じしたり、可愛い写真に癒されたり、可憐い写真に癒されたり。そういう楽しくて前向きな気持ちで、1000倍になって感染していくと思

うんです。落ち込んだときに励まされたり、何か迷ったときにベターな選択ができることがあるかもしれない。有意義に楽しく活用してほしいと思います。」



天国にいる sanaさんの愛犬、バーニーズマウンテンドッグの凛くん。犬の写真もコミュニティの楽しみのひとつ。

まずはいろいろのそいでみて、と sanaさん。「参加者さんや管理人さんのやり取りからその場の雰囲気や空気がつかめると思います。のんびり会話を楽しむ場所も、真剣に里親さんを探す場所もあります。トップ画像が可愛いとか、最初はそんな単純な理由でのぞいてみるのもいいと思いますよ。」

続けてこんなアドバイスも。「ネットでは言葉のニュアンスが伝わりづらいので、慣れるまでは戸惑うこともあるかもしれません。でも、ネット上のやり取りも現実とそう変わりません。顔は見えない

くてもPCの向こうには人や犬がいま す。そこが魅力ですから、大らかな気持ちで多くの方とコミュニケーションを楽しんでほしいですね。」



sanaさん●メンバー数約16万人の大人気コミュニティ『犬は家族ですけどなにか?』の2代目管理人を務める。「犬を飼っている人も、飼っていない人も、犬が好きなら誰でも楽しめる井戸端会議風のコミュニティを運営しています。みんなでほのぼの“犬好き”を楽しんでいますよ。」

Blog

「類は友を呼ぶ」で人が集まる リアルにつながる犬ブログ

愛犬との生活の楽しさをたくさんの人に見てもらえるブログ。「ブログを書くことで彼らに注目する時間も長くなり、愛情がどんどん深まります」と話すのは、人気ペットブロガーのマーティンゆうさん。2頭の愛犬、クロエとエビスとの日常



ラブラドルのクロエ(9歳メス)とエビス(7歳オス)。思わず笑っちゃう2頭のエピソードがブログに綴られています。

をイラストと写真で楽しく紹介している。ゆうさんのブログに魅了されて、実際にニュージーランドを訪れる人も多いそう。「ブログを通じてコチラへ遊びにきてくださった方とは、ほとんど直接お会いしています。私としては観光案内でも何でもするつもりではないんですけど(笑)、クロエとエビスに会いたくて来たって、みなさん言うてくれる。単純にうれいす。」

オンライン上のつながりをオフラインのリアルなコミュニケーションに広げているゆうさん。旧知のつながりはもちろん、ブログのおかげで新しい交流が生まれ、日常生活もより楽しく活

発になったと話す。「オンとオフの別って私はあんまり意識してないんです。ブログには自分の暮らしや日々思っていることを綴っているわけで、『類は友を呼ぶ』じゃないですけど、それを面白く思ってくれる読者さんたちとは、すでに共通の価値観で結ばれている気がします。だから、機会があればいろんな方にお会いしたいと思えるし、行動にも移せる。でもこれって、犬ブログの特徴かもしれませんね。犬はすごく社交的な動物だから。犬同士を遊ばせたいとか、直接お話ししてみたいとか、共感し合える者同士、自然と交流を持ちたくなるんじゃないでしょうか。」



マーティンゆうさん●2001年にニュージーランドへ移住。2005年、2頭のラブラドルたちとの暮らしをユーモアたっぷりに綴ったブログ『羊の国のラブラドル絵日記』を開設。ランキングの常連となる人気ぶりで書籍化も実現。本誌でもイラストエッセイ『クロエとエビス』を連載中。

プロがアドバイスするSNSお役立ちガイド

SNSのプロであるおふたりが初心者さんに向けたSNSの活用法についてトーク。
さらに、獣医師の岩永先生が飼い主専用アプリの有効性について教えてくださいました。

SNSを活用するにはスマートフォンが便利

野津 SNS特有のコミュニケーションは、どんな飼い主さんにとってもメリットだと思います。同じ犬種や、住んでいるエリアなどそれぞれでつながりを持てるし、意見交換や情報収集が素早く行える。飼い主さん同士が経験談を共有し合うことは、日常生活でも有効に活用できるのでは。

波多野 愛犬の体調が悪いときに以前なら検索サイトを使い、病院や病気に一つひとつ調べて、同じような症状や経験を持つ飼い主さんを探すということをしていました。SNSやソーシャルアプリを上手に利用すれば、さーっと自然に情報が入ってくるので便利です。検索する手間がないんですよ。

野津 地道に検索するより、ミクシイのコミュニティに質問を投げるか、ツイッターでつぶやくほうが情報収集としては的確だし速い場合があります。いつでもどこでも欲しい情報を得たいなら、やっぱりスマートフォンが使いやすいですね。

波多野 初心者さんが始めるならツイッターが気楽でいいかもしれませんよね。つぶやきを読んで興味趣向の合う人をフォローできるし、有益な情報を選んで受け取れるので気楽です。犬を飼っていて実際に感じるのですが、

飼い主同士でも考え方や趣味趣向が同じ人とながっておくのは大切なこと。ライフスタイルや犬に対する考え方が似ている人同士のほうが意見やアドバイスを聞きやすいし、何かあったときに信頼できる人とながっていると思うと安心できます。

野津 僕は、フェイスブックはビジネスツールとして、ミクシイは親しい仲間とのコミュニケーションに、ツイッターは情報収集、と使い分けています。初心者の方も使っているうちに、自分に合った利用方法が見つかるはず。そうなるも、もっと便利に感じられると思います。

トライしやすい！愛犬専用アプリ！

波多野 そういう点では今回開発された、飼い主さんのソーシャルアプリ「ONE LOVE TOWN」は、使い方がハッキリしている分、トライしやすいのではないのでしょうか。GPSを利用したお散歩機能や友達を作る検索機能も、リアルな日常のツールのひとつとしてすぐに活用できそうですよね。

カメラアプリを使って写真を撮るのも楽しいですね

実は僕、フェイスブックに結構ハマってるんです



波多野 浩子さん(はたのひろこ)
● SNSアプリ開発・運営会社役員

ソーシャルメディアやスマートフォンのアプリケーション開発、運営・管理などを行うスマートシェアにて取締役を務める。愛犬は2頭のミニチュアダックスフンド。



野津 幸治さん(のつこうじ)
● ソフトウェア開発会社社長

島根県松江市出身。ソーシャルゲーム開発やスマートフォンアプリ事業を手掛ける㈱インディソフトウェア代表取締役社長。2011年、愛犬家のための総合アプリ『ONE LOVE TOWN』をONE BRANDと共同でリリース。



岩永考治 ● 獣医師、医学博士、日本獣医循環器学会認定医。現在、東京動物心臓病センターにてセンター長を務める。

出始めたのか、最初の変化は何か、正確な情報が分かることで早期診断早期治療につながる事ができます。余分な検査も防げますから愛犬の負担も少なくて済みますよね。言葉を話せない犬は日常の行動観察が重要なので、散歩の距離や消費カロリーが分かることも健康管理に有効だと思います。体調が悪ければ距離に影響が出るでしょうし、摂食カロリーと消費カロリーを比べて体重変化の理由を推測することもできます。



愛犬の健康管理も気軽にできる

飼い主も愛犬もうれしい！多機能アプリに大注目



スマートフォンアプリ『ONE LOVE TOWN』は愛犬の健康日記や、GPSで散歩の距離がはかれるなど、愛犬の健康管理に役立つ便利な機能が満載。そんな多彩な機能の活用方法を東京動物心臓病センターの岩永先生に伺いました。「毎日のウンチの状態や食欲の変化を記録することは病院での健康診断や病気の診察の際にとっても有用です。実は、問診でよくあるのが飼い主さんの不正確な情報。いつから症状が

ONE LOVEプロジェクトは

犬の殺処分をなくし、 人と犬との明るい未来をつくる プロジェクトです



人と犬がもっと豊かに暮らせる社会をめざしている
ONE BRANDでは、1頭でも多くの犬の命を救うために、
2008年より動物保護団体への寄付、情報発信による啓発、
保護犬の譲渡支援を行なう「ONE LOVEプロジェクト」を
実施しています。ONE LOVEプロジェクトは、
「できることから始めよう!」をモットーに、
犬を愛するみなさんに参加いただくことで、
幸せな犬たちを増やしています。



87,119

頭

保健所に收容される
犬の数

(平成 22年環境省発表)

【收容される理由】

- 捨てられた犬や迷子犬を保護
- 無責任な飼い主の飼育放棄による持ち込み
- 動物取扱業者による持ち込み

61

%

殺処分される
犬のパーセントと数

- 元の飼い主のもとに戻れなかった犬
- 動物保護団体にレスキューされなかった犬
- 新しい飼い主に譲渡されなかった犬

53,268

頭



殺処分される犬を減らすためには、
保健所に收容された犬を引き取り新しい飼い主を探している、
動物保護団体を支援していくこと。
そして、「犬を飼おう」と考えた時に
「保護犬」を選択する人を増やすために、認知を広める必要があります。

今すぐ、できることから始めませんか？

今すぐ参加できる寄付・啓発・支援



- ONE LOVEサポーター会費
- ONE LOVEグッズの売上
- 協賛企業・賛同者からの寄付金から毎月、動物保護団体に寄付しています。



ONE LOVEプロジェクト事務局



動物保護団体
12団体
(2012年12月現在)



ONE LOVE
プロジェクト
啓発活動費

ONE LOVE プロジェクトでは、一定の審査を行なった信頼のおける動物保護団体に、長期にわたり定期的に行える寄付支援をしています。

誰でもできる 月1,000円からのサポート

～ ONE LOVEサポーター～

保護犬をレスキューする動物保護団体への寄付や、犬たちが置かれた現状をより多くの方々へ啓発していく活動を支援して下さる「ONE LOVEサポーター」を募集しています。あなたもできることから始めませんか？

●サポーターには・・・

- ①『ONE BRAND』マガジンを奇数月にお届け
- ②サポーター会報誌を偶数月にお届け
- ③ONE LOVE会員カードの発行
- ④ONE LOVEメールマガジン配信



ONE LOVEサポーターへのお申し込み、お問合せ

<http://www.onelove.cc>

☎03-5575-2363

※サポーター会費は1,000円から金額を選べます。
※現会員も金額の変更ができます。



携帯はこちら

お買い物でも サポートできます！

ONE BRAND Shopping (WEB) 内の全ての商品は、売上の一部が動物保護団体への寄付になります。

1頭でも多くの犬たちを救うために、楽しいショッピングは、ぜひONE BRAND Shoppingで！



迷子札

<http://www.obshopping.jp/>

☎03-5575-2363 10:00～17:00(土日、祝日を除く)



携帯はこちら

ONE LOVEプロジェクト 寄付先団体 (50音順)

※2012年12月末
現在

- NPO法人 ARK (アニマルレフュージ関西)
<http://www.arkbark.net/>
- 石川ドッグレスキュー
<http://dogrescuejp.net/>
- NPO法人 しっぽのなかま
<http://shippononakama.kuronowish.com/>
- ちばわん
<http://animal-note.cool.ne.jp/>
- 動物いのちの会いわて
<http://www.inochinokai.com/>
- Dog Shelter (ドッグシェルター)
<http://dogshelter.jp/>
- NPO法人 日本動物生命尊重の会
<http://www.npo-alis.org/>
- Happy Labs (ハッピーラブズ)
<http://www.happylabs.jp/>
- PAK (Paws Adoption かながわ)
保健所の犬・猫を救う会
<http://homepage3.nifty.com/nazozen/>
- NPO法人 ペット里親会
<http://petsatooyakai.web.fc2.com/>
- NPO法人 保健所の成犬・猫の譲渡を推進する会
<http://npo.seiken-joto.org/>
- NPO法人 Wonderful Dogs
<http://www.wonderful-dogs.com/>

4,653,518円

(2012年1月～11月)

これまでの寄付金総額

27,049,937円

(2008年4月22日～2012年11月末現在の累計)

寄付金の詳細については、ONE LOVEサイト内「寄付金の報告 donations report」をご覧ください。

<http://www.onelove.cc/>

ONE BRAND vol. **36**